



【巻頭言】 都知事選で政治を変えよう！

#宇都宮けんじさんを応援します！

新型コロナウイルス

みなさまは、いかがお過ごしでしたか？ベグライテンのみなさまは、医療や介護を始め、ケアにかかわるお仕事に携わる人が多いので、普段よりも一段と忙しく、厳しい生活を強いられている人が多かったのではないかと心配しておりました。幸い、感染してお亡くなりになったような話は伝わってこなかったのも、それだけはみんな喜び合いたいと思います。

新型コロナウイルスはベグライテンをも直撃しました。

ベグライテンは、8年ほど前から上智大学の教室をお借りして例会やセミナーを行ってきたのですが、一昨年春以降段々と借り難くなり、昨年秋には特殊な場合を除いて借りられなくなりました。そればかりか、ベグライテンがかかわりを持って応援していた講座を含め、上智大学の社会人講座（コミュニティ・カレッジ）が昨年秋期をもって閉鎖されることになり、ベグライテンの活動環境は大きく制約されて来ていました。ベグライテンとしては、昨年夏以後世話人になってくださった新しい世話人の方たちと共に、公共的な施設を中心に会場を確保してベグライテンの例会等を安定的に開催し、上智大学以外の大学の先生

方の協力を得て、他大学の社会人講座の中にベグライテンが運営にもかかわりを持てるような講座をつくろうと、取り組み始めたところでした。

そこへ新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、公共的な施設などは次々と休館や利用停止となり、3月以降ベグライテンの例会、セミナー等は延期又は中止せざるを得ない状況に立ち至りました。また、他大学の社会人講座も次々と延期又は中止となるどころが続出し、先生方も本来の授業の立て直しに忙殺されておられ、とてもベグライテンからのお話を聞いてくださる余裕がない状況になっています。

みなさまへのお願い 1

幸い医療・介護等従事者を始め、多くの国民の奮闘、協力により、新型コロナウイルスの感染が下火になり、緊急事態宣言は次々と解除され、自粛要請が緩和されるに伴って、公共的な施設などが借りられるようになってきたので、ベグライテンは、セミナー、例会、カフェなどを再開することができるようになりました。昨年夏以後に世話人になられた方たちを始め、新しい世話人の方たちが中心になりつつありますので、みなさまにも

新しい世話人として、また協力者として、ベグライテンの活動の再開と発展のためにご協力くださるようお願いいたします。

特に、コロナウィルスの第2波、第3波に備えるためには、ズームやユーチューブなどの映像技術を利用した講演会やセミナーを併用できるようにしたいと考えており、このような技術を使える方、運営できる方の積極的な参加をお願いできないでしょうか？

みなさまへのお願い 2

新型コロナウイルスは、また、ベグライテンの活動に直接的な形で打撃を与えました。なんとこれまでベグライテンの中核として会場手配、会報の編集、HPなどの管理を担当してくださっていた方が、ウィルスの感染拡大が進み仕事が複雑化し多忙化する中で、母親の介護も深刻化したため、これらの仕事ができなくなってしまったのです。幸いこれらの仕事も若手のグループと新しい世話人が引き受けてくれたので、なんとか持ち直し、続けることができるようになりましたが、なにせまだ慣れないため、会報などは4月号は休刊し、6月号も月末の編集になってしまいました。会報については、8月からは月初の発行に戻し、HP、TW、FBについても宣伝部を新設して活発なものにして行こうと思っておりますので、この点につきましてもみなさまの一段のご協力をお願いします。特に、会報への投稿、記事集めにご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染防止の中で明らかになってきたこと

それにしても新型コロナウイルスは、日本社会の持つ弱点、差別、矛盾、闇を見事に照らし出しましたね。

自粛要請による休業のため雇止め、失業した人たち、バイトが無くなり学業を諦めなければならなくなった学生たち、家賃が払えないため廃業せざるを得ない零細企業・商店、仕事をするのができなくなってしまった芸術関係者たち…

医師、看護師、介護士を始め、保育士、教師、学童保育指導員、輸送関係者など社会の基幹をなす人たちに光が当たったことは良いことだとして、1980年代から始まった新自由主義経済のため、これらの人たちの労働条件は悪化の一途をたどり、押しなべて3k職業化してきていることはあまり報道されていない…感謝されても、職場を去って行く人は減らない…

大企業の正社員は在宅勤務や時差出勤で平素よりもゆとりを持って仕事しているのに、派遣など非正規の人たちや下請け中小企業の人たちは通常勤務で、労働密度も上がっている…

やっと決まった給付金や支援金、緊急事態が解除される頃になってようやく支給が始まる非効率…昔、優秀だと言われていた日本の官僚制度、いつからこんなに非効率になってしまったのか？

そろそろ自民党と新自由主義政策に別れを告げる時期に来ているのではないだろうか？

政府が自らの非効率を認めて「民活」（民間の活力、効率を利用するという意味）を言い始めて40年、広告代理店であった電通は今では総合企画支援企業みたいなものに成長していて、政府から色々な事業を委託され利益を上げているが、今回もコロナウィルスに関連して関連企業と共に「サービスデザイン推進協議会」（サ協）なる団体を作って政府から持続化給付金事業を受注し、サ協から電通が再委託を受け、電通はさらに関連企業に再々委託や外注を繰り返す形で、延べ少なくとも63社が関わっているという。これでは、効率が上がるはずはない。政府機関や一次、二次委託先

の電通などの実務空洞化、利権化だけが目に付く。

安倍首相などは、住民との直接窓口になる市区町村や保健所の非効率を口にするが、これも自民党が1980年代から新自由主義政策の下で進めてきた町村合併、保健所統廃合とこれに伴う職員削減、及び自治体においても行われている民活の結果であることは明らかなだ。

国会は、第2波、第3波への備えを議論することもなく、10兆円もの予備費の使途を明らかにすることもなく、閉会した。電通が持続化給付金を受託する過程に関する癒着疑惑や受託・再委託における中抜き疑惑への追及を封じる形で…またもや巨悪が、闇の中に姿を隠そうとしている…

私たちは、新型コロナウイルスからいのちと暮らしを守るために戦っているのだ。感染防止に必要な対策を遅らせ、暮らしを守るために必要な対策もなかなか取り上げようとしない、やっとなり上げて極めて不十分な対策を、時間をかけて行おうとしかしない…そんな自民党と新自由主義政策にもう別れを告げようではありませんか。

都知事選で政治を変えよう

その第1歩として、今行われている都知事選に取り組みましょう。

最近のベグライテンでは少なくなってしまうと思いますが、みなさんの周りには次のような方はいませんか？

- ・「私は、仕事やボランティアを通じて、社会やみなさまのために、一生懸命尽くしているから、政治や選挙にまでは、手が回らない。良く分からないし、時間もない。」

さすがに今回の新型コロナウイルスの問題では、「関係ない」「関心ない」という人は、ほとんどいなくなったと思いますが、このような人はまだまだ多いのではないかと思います。でも、このよ

うな方たちでも、さすがに今回の新型コロナウイルスの問題では、どんなに自分が努力しても、行政や政治が動かなければ感染の拡大を防ぐことも、必要なケアや対策を行うこともできないということは身に染みていると思います。あとひとこと助言すれば、このような人も政治や選挙の重要性を理解し、行動してくださるのではないのでしょうか。

- ・「私は、公務員だから（あるいは国や自治体関連の仕事をしているから）、政治や選挙には関われない。」「私は人のいのちを預かっているから、政治や選挙には関われない」

さすがに最近では、口に出してこのようにおっしゃる方は少なくなっていますが、戦前からの教育の

成果が未だに残っていて、このように思い込んでいる人は案外多いと思います。仕事での関係を通じ

てではなく、私人として行動する時には、いつでも、自由に政治活動や、選挙活動ができるのだとい

うことを、共感的態度でお話すれば分かっていただけだと思います。

- ・「選挙期間中は、立候補者や政党関係者以外は選挙活動をしてはいけないのではありませんか？」

これは、とんでもない誤解です！確かに、世界の悪法だと言われる日本の公職選挙法は、立候補者

や政党の行動を細かく規制していますが、一般国民についてはほとんど自由に政治活動も、選挙活動

もできるのです。メールで投票を依頼してはいけないなどと訳の分からない制約もありますが、電話やライン、FB、TW、HP、ブログ、会報でやれば良いのですから、選挙期間中こそは自

由活発に政治活動も選挙活動もやろうではありませんか！（ただ、チラシについては、色々制限がありますので、選挙事務所などの言うことをよく聞いてください。）

・「都民でなくとも宇都宮さんを応援できるのですか？」

もちろんできます。ベグライテンには、神奈川、千葉、埼玉三県を始め全国の人が加入していますが、首都東京の首長選挙は、全国の首長選挙に影響します。他人ごとではないのです。投票することのできる都民に知り合いがいる人は、携帯、電話、手紙、ライン、FB、TW、Zoomなどを使って、宇都宮さんに投票するよう頼んでください。

#宇都宮けんじさんを都知事に！

大前提であるようなところで紙面を使ってしまったので、肝心なところで紙面がなくなっていました。ベグライテンは世話人会でも、緊急セミナーでも、宇都宮さんを応援する人ばかりでしたので、今回の都知事選挙では宇都宮けんじさんを応援しようと思います。

- ① 宇都宮さんは、都知事に立候補する以前から一貫して弱いものを助ける活動をなさっています。ベグライテンは、宇都宮さんが反貧困ネットワークの代表や日弁連の会長をなさっているところから、宇都宮さんから多くのことを学ばせていただけてきました。
- ② 今回の都知事選に向けた政策を読み比べても、宇都宮さんが7年半かけて練り上げて来られた政策が最も納得が行きます。
- ③ 宇都宮さんは、今回立憲民主党、共産党、社民党など多くの立憲野党から支持されています。

ただ、誤解が生じるといけないので、いくつか書き足しますと…

- ① 宇都宮さんを応援すると言っても、ベグライテンはいわゆる「組織」ではなく、ケアの哲学と公共哲学を学び身につけて生きて行こうとする人たちの「ネットワーク」ですから、みなさまの行動や活動が制約されたり、拘束されたりすることはありません。宇都宮さんを応援する「勝手連」が呼びかけられているというようにご理解ください。みなさまができる時に、できる方法で、宇都宮さんの政策を知ってほしい、支援しようと呼びかけてくだされば良いのです。
- ② 宇都宮さん以外の立候補者を応援したい方もおられると思います。そのような方は、ご自分の信念に基づいて、政治活動、選挙活動をなさればよいのです。そういう方とは、お互いに競い合って、投票に行かない人を減らすように協力したいと思っています。
- ③ 特に、山本太郎さんを応援したい人たちとは、お互い競い合い、協力し合って、小池現知事都政の誤りを指摘し、都知事選に関心をもってもらい投票に行かない人を減し投票率を上げれば、都政変換のチャンスが生まれてくるのではないのでしょうか。
- ④ ベグライテンは、この文の最初に書きましたように、ベグライテンの活動の再建に注力しておりまして、都知事選への取り組みが遅れてしまいました。7月5日の投票日まで一週間もなくなってしまいました。これからでも遅くはありません。みんな、力を合わせて、宇都宮さんを頑張って応援しましょう。

<目 次>

【巻頭言】都知事選で政治を変えよう！（代表世話人 関根和彦）	1
◆開催のご案内◆	(/) 内:開催日
6月公共例会『ポストコロナ時代の民主主義～我々は人類史的試練に耐えることができるのか～』(7/4)	5
公共哲学セミナー『カントに見る平和と友好性の思想』第2回(7/11)	6
憲法カフェ(第3期 第18回) 新型コロナウイルスと株式市場(7/30)	7
7月公共例会『花の谷クリニックにおける緩和ケアの歩み』(8/9)	8
施設訪問・見学会『花の谷クリニック 緩和ケア病棟を訪問しませんか?』(8/29)	9
緊急セミナー『都政について学び、しっかり考えよう!』(6/16)	9
憲法カフェ(第3期 第17回) MMTと、消費税5%へ!(6/25)	10
ケアの哲学セミナー『なぜ、香りが苦しみになるのか?』(6/28)	11
◆その他のイベントの開催予定◆	12
◆パブリックコメント情報◆	18
◆COVID-19をめぐっての皆さんからのメッセージ◆	18
◆報告・感想◆	24
2月例会(東ルミ) / 緊急セミナー(東ルミ) / 6月憲法カフェ	

◆開催のご案内◆

◇ベグライテン6月公共例会◇

ポストコロナ時代の民主主義
～我々は人類史的試練に耐えることができるのか～

【日時】7月4日(土)14:00～16:30(開場30分前)

【講師】山口二郎先生(法政大学教授)

【略歴】1958年生まれ、東京大学法学部卒、
北海道大学教授を経て現職

<講師からのメッセージ>

新型コロナウイルスは20世紀以来の、とりわけ1990年代以来の、大量生産、利益追求の文明の再考を我々

に迫っている。

人間の生命という最も重要な価値を尊重するような経済システムを作るべきという声は、世界中に広まっている。しかし、日本やいくつかの国ではこの病気が差別やいじめを生んでいる。また、アメリカでは生命と生活の困難を強いられているアフリカ系の人々による権利と尊厳を求める運動が広がり、社会の亀裂を見せつけている。

この危機を独裁への転落の契機にしてはならない。自由と民主主義によって、人間を尊重する経済と社会をいかに回復するか。一人一人の市民が考え、発言することから始めるしかない。そのための視座を提供することができればと思い、今悩んでいることについて話したい。

【会場】 イケ・ビズ としま産業振興プラザ 6F
多目的ホール

<https://www.toshima-plaza.jp/access/>

〒171-0021 豊島区西池袋 2-37-4 Tel 03-3980-3131

JR 池袋駅西口から徒歩 8 分、南口から 6 分

東京メトロ副都心線雑司が谷駅下車 2 番出口上

(西口を出て、東京芸術劇場の前を(南口の場合は後ろ)を通り、大通り(劇場通り)に出る。左折して池袋警察署の前を通り、池袋消防署の隣。)

【参加費】 1000 円 (学生、障害者・生保者は、500 円)
(三密を避けるため、広い部屋を確保しています。
当日はマスクの着用をお願いします。)
* どなたでも参加できます。

【申込】 コロナウイルス対策の意味を含め、次のコードからの申込が必要です。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeCfqpeQDuDEPhcJWFX10YqfXqM1r4qdBJ71dp2sAGfbg4J1A/viewform?vc=0&c=0&w=1>

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

【主催】 ベグライテン HP <http://begleiten.org/>
FB <https://www.facebook.com/begleiten2>

◇思想家と歴史に学ぶ 公共性の哲学◇

思想家と歴史に学ぶ公共性の哲学

第 2 回

「カントに見る平和と友好性の思想」

戦争とは何か、

平和に必要な公共性とはどんなものなのか

【日時】 7 月 11 日(土) 13:30~16:45

【講師】 大橋容一郎 先生

(上智大学教授・放送大学客員教授)

【略歴】 1952 年 2 月東京都生まれ。上智大学大学院哲学研究科から同大学助手・講師・准教授。2000 年から上智大学文学部教授。ミュンヘン哲学単科大学客員研

究員、上智大学哲学科長、文学部長等をへて現在に至る。元上智大学グリーンケア研究所副所長。この間、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学等で講師。2019 年 4 月から放送大学客員教授。日本カント協会会長。

【業績】 『カント全集』(岩波書店)、『フィヒテ全集』(哲書房)、『広辞苑第 7 版』(岩波書店)、『世界人名大辞典』(岩波書店)、『哲学思想事典』(岩波書店)、『哲学の歴史』(中央公論新社) など多数の全集・辞書を監修。カント哲学・近現代哲学・ケアと身体の哲学・近代日本思想などに関する学術論文多数。最近の記事 岩波書店『思想』で近代日本哲学思想について連載中。理想社『理想』で 20 世紀初頭のドイツ哲学監修。

<講師からのメッセージ>

公共性はつねに近代哲学思想の中核をなす問題だった。さまざまな歴史的現実のなかで、公共性はあるときには人格の尊厳、またあるときには市民の権利、国家や民族の同一性などとして扱われ、その意味するところは決して一つではない。時代の変化のスピードが加速している現代社会だが、その変転に振り回されることなく、歴史と思想家たちが語ってきたことをふり返り、日本と世界におけるわれわれの公共性がこれから向かうべき途について、ともにじっくりと考えてみたい。

<連続講座・内容一覧 (予定) >

- ・第 1 回(終了) 「天皇の人間宣言と文化主義に見る反戦平和の思想」：かつて日本人が意図した平和の思想はなぜ挫折しているのか
- ・第 3 回 「グローバリゼーションにおける公共性の問題」：現代のグローバリゼーションは公共性をどう変えたか
- ・第 4 回 「新旧教育基本法における公共の福祉と公益の原理」：個人の人格の尊厳は公共的にはどう実現されるべきか
- ・第 5 回 「アーレントとハーバーマスに見る公共的

市民の原理」：公共的市民の立場とはどんなものか

【会場】渋谷区 勤労福祉会館 2F 第2洋室

東京都渋谷区神南 1-19-8 03-3462-2511

JR 渋谷駅ハチ公口から徒歩 10 分弱。

ハチ公広場から、TSUTAYA の前（東京メトロ 渋谷駅 A6 b 出口）に渡り、西武 A 館・B 館の前を通過して、神南一丁目信号で左折、渋谷パルコに至る。信号（勤労福祉会館前）を、右前方斜めに渡る。

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/shise/tsu/shuro/kinro.html>

【参加費】1000 円（学生、障害者・生保者は、500 円）
どなたでも参加できます。

【申込方法】事前申し込みは、不要です。

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

E-mail k_sekine@f7.dion.ne.jp

【主催】ベグライテン HP <http://begleiten.org/>

FB <https://www.facebook.com/begleiten2>

◇憲法カフェ@四ツ谷◇

（第3期 第18回）

MMT と、消費税 5%へ！

【日時】7月30日（木）18:30～21:00

【提題者】伊藤 理（経済アナリスト）

【司会】関根和彦 さん（ベグライテン世話人）

前回は、戦後最大の経済危機と言われている中で、なぜ株価が上昇しているのか？この問いについて考えました。そこで、今回は、未曾有の経済危機が到来するのであれば、どのような政策が有り得るのか。リーマン・ショックの時と比べて、どうなのか？この問いについて考えてみたいと思います。

具体的には、まず、東京都知事選挙に出馬した山本太郎氏が掲げた「消費税 5%へ！」。これは、確かに有

力な政策です。しかし、立憲民主党と折り合う事が出来ませんでした。なので、今回は、もう一つの有力な政策であるMMT（現代貨幣理論）を中心に上げ、その議論の流れの中で、消費税の減税についても考えてみたいと思います。

（もともと初心者向けの勉強会です。ご家族、友人を誘ってご参加ください。SNS、MLなどで、宣伝して下さるようお願いいたします。）

【会場】東京法律事務所 1階会議室 TEL 03-3355-0611

【アクセス】JR 四谷駅・四谷口前

（しんみち通り入口横のファミリーマートの隣）

<http://www.tokiolaw.gr.jp/about/location.html>



【参加費】1人 500 円 + 印刷代（100 円程度）

* 飲み物は各自持参してください

【連絡/問合せ先】大塩 mail veu03273@nifty.ne.jp

関根 携帯 TEL 090-9146-6667

【主催】ベグライテン HP <http://begleiten.org/>

FB <https://www.facebook.com/begleiten2>

◇ベグライテン7月例会◇

花の谷クリニックにおける

緩和ケアの歩み

緩和医療はどこに向かおうとしているのか？

【日時】8月9日(日) 14:00~16:30 (開場 13:40)

【講師】伊藤真美 先生 (花の谷クリニック院長)

【略歴】日本内科学会認定内科専門医。日本緩和医療学会認定医。

1984年信州大学医学部卒業。校正病院、都立駒込病院化学療法科、自治医科大学血液科勤務を経て、1989年、インドのGujarat Ayurveda Universityに留学。1990年、米国のCalvary Hospitalで研修。

1991年から亀田総合病院血液内科に勤務。1995年、有床診療所「花の谷クリニック」を開設。2013年9月に「スープのよろずや『花』」を開店。

【主な著書】『しっかりしてよ！介護保険』2000年3月草思社、『生きるための緩和医療』2008年7月医学書院。

<講師からのメッセージ>

1980年代に医師になり、35年が過ぎようとしている。日本でホスピスがはじまり、緩和医療という分野が確立されてきた時代である。そして、財源問題を理由に、医療・介護・福祉の公共サービスは縮小され、自己負担額が年々増額されてきた時代でもある。

この数年、医療費を気にして、患者さんから費用を聞かれることが多くなった。また、進行がんであっても治る可能性がでてきた、がん治療の大きな進歩がもたらされた時代になった一方で、治療選択の自己決定がいくらか困難な状況にある進行がんの患者さんが、その可能性を知らされることもないまま、緩和医療を希望されたとのことで花の谷クリニックに紹介されてくることの、なんと多いことか。

いのちが軽んじられる現実を実感する当院での日々から、緩和医療の変遷を報告させていただき、求められる医療のあり方を、みなさまとともに考えたいと思う。

【会場】PiO 大田区産業プラザ 1F AB会議室

TEL 03-3733-0066

大田区南蒲田 1-20-20

京急蒲田駅から3分、JR蒲田駅から13分

<https://www.pio-ota.net/access/>

【参加費】1000円 (学生、障害者・生保者は、500円)

三蜜を避けるため、広い部屋を確保しました。

当日は、マスクをしておいでください。

どなたでも参加できます。

【申込方法】コロナウィルス対策の意味を含め、次のコードから申込みが必要です。

・フォーマットによる申し込み：

<https://docs.google.com/forms/d/1NPTI9Q2T1-CbChuJbmOwMBzQdXGtzHT1P6K9jRKDsIA>



QRコード

・Faxによる申込み 050-3737-2636 後藤哲男 あて
※いただいた個人情報は、名簿化して訪問先に提出するほか、本訪問に必要な連絡に使用します。それ以外の目的に使用することはありません。

◎急用で来られなくなった場合は、必ず下記にご連絡ください。

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

E-mail k_sekine@f7.dion.ne.jp

【主催】ベグライテン HP <http://begleiten.org/>

FB <https://www.facebook.com/begleiten2>

.....

◇施設訪問 見学会◇

花の谷クリニック 緩和ケア病棟を 訪問しませんか？

【日時】8月29日(日) 14:00~16:15

【集合】13:35に内房線千倉駅前集合。

駅からタクシーの相乗りで訪問。

千葉県南房総で一般内科外来診療、緩和ケア病棟、在宅ケアの3つを連携させ、ホスピス精神に基づく活動で住民の健康を守っている「花の谷クリニック」を訪問します。院長の伊藤真美先生がご説明、ご案内してまいります。先着順です。

【会場】花の谷クリニック 緩和ケア病棟

TEL 0470-44-5363

千葉県南房総市千倉町白子 2446

<http://hananotani.jp/>

【アクセス】

- ・JR内房線千倉駅から車で5分(タクシー有)
(徒歩15分)
- ・東京方面からの高速バス「なのはな13号」
東京駅八重洲南口 11:20 発
千倉駅前 13:32 着

【参加費】500円(現地徴収)

【定員】10名(先着順です)

【申込方法】氏名(ふりがな)、〒、住所、電話、携帯、メールアドレスを記入し、次の方法でお申込みください。

- ・フォーマットによる申し込み:



QRコード

・Faxによる申込み 050-3737-2636 後藤哲男 あて
※いただいた個人情報は、名簿化して訪問先に提出するほか、本訪問に必要な連絡に使用します。それ以外の目的に使用することはありません。

なお、13:40に、花の谷クリニック内にある、スープのよろずや「花」に集合して、食事する(スープランチ 600円)ことができます。ご希望の方はその旨、併記してお申し込みください。集計して人数を報告しておきます。

*スープのよろずや「花」

<http://hananotani.jp/soup/>

【問合せ・連絡先】 関根 090-9146-6667

または

後藤 080-2251-0761

【主催】ベグライテン HP <http://begleiten.org/>

FB <https://www.facebook.com/begleiten2>

.....

◇ベグライテン 緊急セミナー◇

都政について学び、 しっかり考えよう!

【日時】6月16日(火) 14:00~16:30

(※終了しました)

【講師】青龍 美和子 先生 (弁護士)

<メッセージ>

新型コロナウイルス感染予防のため、私たちの仕事や生活は大きな制約を余儀なくされています。現場で困難を抱えて闘っている医療従事者、生業・仕事を失うのではないかと不安、学校や家での居場所がない子どもたち・・・今ほど、都民の命、健康、生活を守る都政が求められている時はありません。

現在の小池都政は、私たちの切実な要望に答えているのでしょうか？

都政の現状や都知事選候補らの政策を学習しながら、私たちが求める都政について、みなさんといっしょに考えてみたいと思います。

【会場】 雑司ヶ谷文化創造館 B1 第4会議室

豊島区雑司が谷 3-1-7

千登世橋教育文化センター 地階

TEL 03-3590-1253

東京メトロ 副都心線 雑司ヶ谷駅 2番出口直結（ホームに降りたら、2番出口（渋谷側）を探す。改札を出て2番出口に向かい、エスカレーターを乗り継ぎ、上がり切ったところが B1 です。数歩先の左手にあるエレベーターには乗らず、30m 直進し左折、20m 先の右側に第4会議室のドアがあります。）

<http://www.city.toshima.lg.jp/134/bunka/shogai/009982/005247.html>

【参加費】 1000 円（学生、障害者・生保者は、500 円）
どなたでも参加できます。

【申込方法】 事前申し込みは、不要です。

【備考】 広い部屋を予約しましたので、十分な距離を保てます。マスクをしてお越しください。

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

E-mail k_sekine@f7.dion.ne.jp

【主催】 ベグライテン HP <http://begleiten.org/>

FB <https://www.facebook.com/begleiten2>

◇憲法カフェ@四ツ谷◇

（第3期 第17回）

新型コロナウイルスと株式市場

【日時】 6月25日（木）18:30～21:00

（※終了しました）

【提題者】 伊藤 理（経済アナリスト）

【司会】 関根和彦 さん（ベグライテン世話人）

緊急事態宣言が解除され、街にも人々が戻ってきていますが、それでも今なお殆どの人たちがマスクをしていて、「三密回避」も順守されています。

新型コロナウイルスの感染拡大は国難と言うよりも、世界難・地球難とでも言うべき現象であり、第二波の到来も予測されています。にも拘わらず、株式市場は、なぜか活況を呈しています。戦後最大の経済危機と言われている中での株価上昇。何故なのでしょう（6月12日現在）。

そこで、今回は、この株価の動きを通して、そこから見えてくるものについて考えてみたいと思います。そして、

①コロナ前とコロナ後で、大きく変わるのか。それとも、同じ傾向が続くのか？

②未曾有の経済危機が到来するのであれば、どのような政策が有り得るのか。リーマン・ショックの時と比べて、どうなのか。

③そうした中で、我々は、どう生きれば良いのか？。

これらの「問い」について、3回くらいに分けて、考えてみたいと思います。

（もともと初心者向けの勉強会です。ご家族、友人を誘ってご参加

ください。SNS、MLなどで、宣伝してくださるようお願いいたします。）

【会場】 東京法律事務所 1階会議室

TEL 03-3355-0611

【アクセス】 JR 四谷駅・四谷口前

（しんみち通り入口横のファミリーマートの隣）

【参加費】 1人 500円 + 印刷代（100円程度）

* 飲み物は各自持参してください

【連絡/問合せ先】 大塩 mail veu03273@nifty.ne.jp

関根 携帯 TEL 090-9146-6667

【主催】 ベグライテン HP <http://begleiten.org/>

FB <https://www.facebook.com/begleiten2>

.....

◇ケアセミナー◇

なぜ、香りが苦しみになるのか？

～失職・転居・別居・教室には入れない～

【日時】6月28日(日) 14:00～16:30

(※終了しました)

【講師】松田 博美さん

(ジャパンマシニスト社編集部)

【プロフィール】ジャパンマシニスト社(1958年創業)編集プロデューサー。1993年小児科医・毛利子来らと子育てBOOK〈ちいさい・おおきい・よわい・つよい〉を創刊。初代編集長。現在125号。2019年「香害本」3冊同時刊行。2019年11月に出版社に贈られる唯一の賞である「梓会出版文化賞(第35回)」を受賞

<講師からのメッセージ>

「香害」は、2000年半ばから洗剤や柔軟剤、消臭剤などの生活用品に添加された「香料」と香料を包む新技術「マイクロカプセル」により、著しく体調が悪くなるという被害の訴えが相次いでいることから名付けられた。

全国消費者センターも急増する訴えに、「容量を守って使用することの徹底」などをメーカーに指導をしている。しかし、個々人が容量を守るかどうか以前に、私たちの空気環境には、明らかに多くの香料物質がふりまかれています。この10年内外で香料生産量は、1.7倍増、柔軟剤も約2倍となり、ほとんどの柔軟剤には高濃度の香料が添加され、新技術であるマイクロカプセルにより、「香りが長持ちする」効果も高くなっているという事実がある。

一方、被害の声はかなり深刻で、「発症した」と訴える人たちは、数ヶ月のうちに症状が広がり、通勤や通学もままならず、自宅の窓を開けることも、就寝することも出来ず、生きることが困難になります。

自分の嗅覚は正常だと考える多くの人は、この数年で常時ふりまかれている「香料」によって、嗅覚の「順応」が起こっている。人は数分でニオイに鈍麻していき、それを「順応」という。

ところが、一部の人がアレルギー反応のように、それら商品の何らかの添加された物質に刺激を感じて、その香り物質や添加剤に反応する。その反応は特定の「香り」や「ニオイ」を感じた直後に起こることが、全国に散らばる年齢、職業、環境のちがう発症者たちの証言からわかる。

これは、発症者の苦難に終わるだろうか？ 被害者を「炭坑のカナリア」に例えることがあるが、すでに、被害は幼い子どもにも広がっている。

【会場】渋谷区 勤労福祉会館 2F 第2洋室

東京都渋谷区神南1-19-8 03-3462-2511

JR渋谷駅ハチ公口から徒歩10分弱。

ハチ公広場から、TSUTAYAの前(東京メトロ渋谷駅A6b出口)に渡り、西武A館・B館の前を通過して、神南一丁目信号で左折、渋谷パルコに至る。信号(勤労福祉会館前)を、右前方斜めに渡る。

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/shise/tsu/shuro/kinro.html>

【参加費】1000円(学生、障害者・生保者は、500円)

【申込】不要。

*どなたでも参加できます

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

【主催】ベグライテン <http://begleiten.org/>
<https://www.facebook.com/begleiten2>

(私たちは、ケアの哲学と公共哲学を学び身につければ、一人ひとりが豊かに個性を開き、発展させることができる社会を築くことができると考えています。)

◆その他のイベントの開催予定◆

◇生と死を考える会◇

死別体験者の分かち合いの会

大切な人を亡くした方が集い、率直に気持ちを分かち合う場です。生と死を考える会発足のときから、休みなく続いています。テーマや指導者を設けず、話したい方、聞きたい方、それぞれ自由にご参加ください。

【日時】 毎月

第1 土曜日 14:00～17:00

(自死により大切な人を亡くされた方の集まりです)

第2 金曜日 14:00～17:00

(主としてお子さんを亡くされた方の集まりです)

第3 火曜日 18:30～20:30

(さまざまな体験の方の集まりです)

第3 土曜日 17:00～19:00

(20代から30代の世代の集まりです)

第4 土曜日 14:00～17:00

(さまざまな体験の方の集まりです)

【会場】 生と死を考える会

<http://www.seitosi.org>

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-8-11

東京YWCA会館2階214号室

TEL 03-5577-3935 FAX 03-5577-3934

【参加費】 一般 1000円 会員 500円

【備考】 予約は必要ありませんが、開始時間には遅れないようにお越しく下さい。

◇東京多摩いのちの電話◇

「2020年度 厚生労働省自殺防止対策事業オープンセミナー」ドリアン助川氏 講演会
「生きることの新しい意味」
～積極的感受～

<https://www.indt.jp/about/event.php>

【講師】 ドリアン助川氏

(明治学院大学国際学部教授。放送作家、ラジオのパーソナリティ、小説「あん」の原作者)

【日時】 9月19日(土) 14:00～15:30 (開場 13:40)

【会場】 銀座プロッサム中央会館ホール

中央区銀座2-15-6

【参加費】 無料

【申込】 事前申込が必要です。

<https://www.indt.jp> もしくは TEL 03-3263-5794

【問合せ】 TEL 03-3263-5794 (月～金 13:00～17:00)

◇朝日カルチャーセンター 新宿教室◇

『グリーフケア講座』

悲しみとともに～今、グリーフケアを考える

グリーフとは喪失に伴う悲嘆のこと。悲嘆をもたらす喪失は、私たちの日常にあり、決して特別なものではありません。大切な、かけがえのない、人やもの、関係、事柄を失ったとき、必要とされるグリーフケアとは？

上智大学グリーフケア研究所で非常勤講師を務め

る入江杏さんが、2000年12月に発覚した世田谷事件で妹一家四人を失くした経験をふまえ、同じく、上智大学グリーンケア研究所認定臨床傾聴士の神谷祐紀子さんと様々な角度からグリーンケアについての思索を展開します。

<各回のテーマ予定>

- ①当事者の語り(ナラティブ)
- ②グリーンケアの理論と実践
- ③グリーンケアを考える～ワークを通して

【講師】 入江 杏 (上智大学グリーンケア研究所 非常勤講師)
神谷 祐紀子 (上智大学グリーンケア研究所 認定臨床傾聴士)

【日程】 2月10日(月), 3月23日(月),
7月20日(月)

【時間】 19:00~20:30

【会場】 朝日カルチャーセンター 新宿教室

【受講料】 会員 11,220円, 一般 13,200円

【申込】 朝日カルチャー教室 新宿教室
TEL 03-3263-5794 (月~金 10:30~18:30)

.....
◇朝日カルチャーセンター
新宿教室◇
政治思想と教育思想

【講師】 山脇 直司 先生
(東京大学名誉教授・星槎大学学長)
【略歴】 1949年生まれ。星槎大学学長、東京大学名誉教授。ミュンヘン大学哲学博士。専門は、哲学、公共哲学、社会思想史。単著『ヨーロッパ社会思想史』『グローバル公共哲学』(東京大学出版会)『公共哲学とは何か』『社会思想史を学ぶ』(ちくま新書)『公共哲学からの応答: 3.11の衝撃を受けて』(筑摩選書) Glocal Public Philosophy: Toward Peaceful and Just

Societies in the Age of Globalization (Lit出版社)など。編著『科学・技術と社会倫理』『教養教育と統合知』(東京大学出版会)『共生社会の構築のために』(星槎大学出版会)。

<講師からのメッセージ>

政治の在り方と教育の在り方はどう関連するだろうか。今回は、その関連について、代表的哲学者たちの見解を、単なる学説史としてではなく、現代でも重要な思想的遺産として考察したい。

<講座スケジュール>

- 第1回 ロックとルソー
— 統治の担い手のための対照的な教育論
- 第2回 カント、フィヒテ、シュライエルマッハー
— 世界連邦 or 国民国家の担い手のための教育
- 第3回 プラトンとデューイ
— 政治エリートのための教育 or 民主主義のための教育

【日程】 7月10日(金), 8月7日(金),
9月11日(金)

【時間】 19:00~20:30

【会場】 朝日カルチャーセンター 新宿教室

【受講料】 会員 9,000円, 一般 9,900円

【申込】 朝日カルチャー教室 新宿教室
TEL 03-3344-1941

(電話受付 10:30~18:30)

日曜・一部祝日を除く)

.....
◇暮らしのグリーンサポート
みなと公開講座◇

コロナ禍の今、子どもの心の中で起きている
こと、大人の私たちができること

【講師】 高橋聡美さん

コロナによって、会いたい人に会えない、行きたいところとへ行けないという制限を強いられている私たち

これまでの日常を失っている中で大人の私たちさえ抱いた感情や子どもたちの心の中で起きている事、沸き起こっている気持ちをみなさんと一緒に分かち合い、考えたいと思っています。是非沢山の方に聞いていただけたら嬉しいです。

今年度の公開講座は、Zoomで開催いたします。1回目のスピーカーは、自死遺族、震災遺族、震災遺児などの遺族ケアを専門に活躍されている高橋聡美さんをお招きし、専門的視点も交えて、「グリーフ」について、子どもが抱えている傷つきなどについてお話ししていただきます。

【日時】 7月5日(日)14:00~16:00

*Zoomを使ったオンライン講座

【参加費】 1000円

【申込】 事前にPeatixよりお申し込みください。

<https://minato2020-1.peatix.com>

*どなたでも参加できます

*キャンセル受付不可

*Zoomを利用されたことがない人は使用方法をお伝えいたします。申込時にお知らせください。

【問合せ・連絡先】 暮らしのグリーフサポートみなみ

greifminato@gmail.com

<https://www.griefminato.org>

.....

◇PARC 自由学校

オンライン・オープン講座◇

COVID-19 時代を生きるーグローバル・クライシスと市民社会

新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的な感染拡大は、これまでの経済や社会のあり方の問題を明

確に映し出しています。様々な課題の分析と共有、そして今後私たちはどうすればよいかを考えるため、PARC はオンライン・オープン講座を開催しています。

【第10回】

韓国のコロナ対策～その後～

感染第二派の防止と経済復興、市民社会の取り組み

世界でも早くに COVID-19 の感染を食い止めた韓国。今後の感染を防止しつつ、経済へのダメージを最小化するため、政府や自治体、そして市民社会はどのように動いているのでしょうか。

5月に行った「韓国の COVID-19 対策」講座には大変多くの方がご参加くださり好評でした。今回はその続報として、ソウル在住の姜乃榮さんに、最新の韓国の状況と市民社会、草の根の運動の報告をいただきます。また同じく前回もご登場いただいた白石孝さんからも、日韓の政策の比較や提言をしていただきます。

【日時】 7月7日(火)19:30~21:00

*Zoomを使ったオンライン講座

【講師】 白石 孝 さん (日韓市民交流を進める

希望連帯代表/ PARC 理事)

姜 乃榮(カン・ネヨン) さん

(地域ファシリテーター/

慶熙大学フマニタスカレッジ講師)

【参加費】 無料 (先着順, 定員 400 名, 複数機器による接続は極力ご遠慮ください)

【申込】 事前に下記のウェブ上のフォームより PARC 事務局へお申し込みください。

<http://www.parc->

[ip.org/guidance/form06.html](http://www.parc-)

【備考】 この講座は単発の講座となりますので各回にお申し込みください。

【その他】 本オンライン講座の一部はアーユス仏教国際協力ネットワーク 2020 年度『街の灯』支援事業の助成を受けて開催いたします

.....

◇原水爆禁止 2020 年世界大会 (オンライン) ◇

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な
世界を一人類と地球の未来のために

*3 日間共通

【形式】 Zoom ウェビナー方式 1000 人+
YouTube ライブ配信

【時間】 10:00~12:30 (開場 9:45)

国際会議 8 月 2 日 (日)

開会セッション 主催者報告、被爆者の訴え、
ゲストスピーカー発言、メッセージ紹介
第 1 セッション 大会テーマの討論パネル 1
(世界の平和運動代表)
第 2 セッション 大会テーマの討論パネル 2
(アジア・太平洋)
閉会セッション 寄せられた質問に答えて
声明の発表、閉会の辞

世界大会—広島デー 8 月 6 日 (木)

主催者報告、被爆者代表の報告、「平和の波」開始
宣言、ゲストスピーカー発言、メッセージ紹介
世界大会—広島デーセッション 1 核兵器のない
世界への共同
世界大会—広島デーセッション 2 日本と世界、
草の根の運動の交流
文化プログラム
主催者の声明 (広島からのよびかけ)

世界大会—長崎デー 8 月 9 日 (日)

主催者報告、被爆者代表の報告、ゲストスピーカ
ー発言
世界大会—長崎デーセッション 1 核兵器のない
世界への共同
世界大会—長崎デーセッション 2 日本と世界、

草の根の運動の交流

文化プログラム

「平和の波」終結宣言

主催者の声明

(各国政府への手紙ないし世界へのメッセージ)

「平和の波」行動

被爆 75 年の 2020 年 8 月 6 日から 9 日まで、核兵
器廃絶を共通の目標とし、ヒバクシャ国際署名を共
通の行動形態に、地球の自転に合わせて世界をまわ
る多彩で創意的な草の根の共同行動。広島に原爆が
投下された 8 月 6 日 8 時 15 分の黙とうを起点、9 日
11 時 2 分、長崎の原爆投下時間の黙とうを終結とす
る (終結報告は、長崎デー大会でおこなう)。

詳細は、次をご覧ください。

http://www.antiatom.org/intro_activity/2020/2020wc_oshirase200618.pdf

.....

◇戦争させない・9 条壊すな！総 がかり行動実行委員会／安倍 9 条 改憲 NO! 全国市民アクション◇

STOP！安倍改憲発議

7. 6 総がかり街頭宣伝行動

【日時】 7 月 6 日 (月) 18:00~

【場所】 新宿駅西口

【共催】 戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実
行委員会

／安倍 9 条改憲 NO! 全国市民アクション

安倍 9 条改憲 NO！安倍政権退陣！

7. 19 国会議員会館前行動

【日時】 7 月 19 日 (日) 15:00~

【場所】新衆議院第2議員会館前を中心に、
国会図書館方面へ

【その他】フィジカルディスタンスを確保しながら
スタンディング

できるだけ各自のプラカード持参を

【共催】戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実
行委員会

／安倍9条改憲NO!全国市民アクション

.....
◇首都圏反原発連合
—Metropolitan Coalition
Against Nukes—◇

原発廃炉時代・再エネ社会の実現に向けて
再稼働反対！原発ゼロ政権の誕生を！

◆この集会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対
策として延期した、『0308 原発ゼロ☆国会前大集会
-福島・輝く未来へ-』の代替集会となります。

◆「参加型集会」か「リモート集会」かは、開催予
定日の一週間前に判断し、HP上でお知らせいたしま
す。

2011年3月11日に起きた、東日本大震災と福島第
一原発事故から9年以上もの月日が流れました。私
たちは毎年3月に国会前集会を開催していますが、
今年はコロナ感染拡大防止のために、『0308 原発ゼ
ロ国会前大集会 - 福
島・輝く未来へ-』を延期いたしました。各地の
3.11関連の集会のほとんどが中止になってしまいま
したが、集うことはできなくても、多くの人々の思
いはひとつであったと思います。

未知のウイルスの感染拡大に、多くの人々は福島
原発事故発生時のことを重ねたのではないでしょう

か。先行きの見込みが立たない中、安倍政権の感染
拡大防止対策、経済対策は後手での得ず、給付金
については事業委託業者との不正疑惑も報じられて
います。圧倒的国民世論、世界的潮流を無視し、一
部の既得権益者のために、影の総理と言われる原発
推進の本丸、今井尚哉総理秘書官を中心に原発維持
に勤しむ政権ならでは、コロナ対策といえるでし
ょう。

しかし、政府の意向とは真逆に、原発産業は立ち
行かなくなってきました。原発事故は収束できず
廃炉への工程は遅れに遅れており、トリチウム汚染
水の処理方法も決まらないままです。『原子力緊急事
態宣言』が未だに解除されない中、安倍首相は「原
発はアンダーコントロール」と世界に虚偽のプレゼ
ンをし『復興五輪』としてオリンピックを誘致しま
したが、コロナ禍で開催が危ぶまれていることは、
不幸中の幸いではないでしょうか。

東日本大震災で、東北地方の被災は悲惨を極めま
した。お亡くなりになられた皆さまに黙祷を捧げま
す。同時に、福島原発事故により、放射能汚染のた
め家に戻ることができず避難を強いられている皆様
に、心よりお見舞いを申し上げます。原発事故から
10年目。原発、そして原発を推進する安倍政権に一
刻も早く退陣いただくよう、声をあげていきましょ
う！エネルギー政策の変革は、より良い社会への変
革にもつながるのです。

【登壇者】(敬称略)

<<スピーチ>>

<福島から>

●鈴木薫(認定NPO法人 いわき放射能市民測定室
たらちね @tarachineiwaki・事務局長) *メッセージ
代読

<有識者・著名人> (50音順)

- 今中哲二 (原子力安全研究グループ/京都大学)
- 小熊英二 @quikion (社会学者)
- 鎌田慧 (ルポライター/さようなら原発 1000万人アクション・呼びかけ人)
- 香山リカ @rkayama (精神科医)
- 菅直人 @NaotoKan (衆議院議員/元内閣総理大臣)
- 古賀茂明 @kogashigeaki (元経産官僚/改革はするが戦争はしない「フォーラム4」代表)
- 立川談四楼 @Dgoutokuji (落語家/作家/書評家)
- 中沢けい @kei_nakazawa (作家)
- 西谷修 (哲学者)
- 水野誠一 @SeiichiMizuno (元西武百貨店社長/元参議院議員<新党さきがけ・政調会長>)

<政治家>

調整中

【日時】7月26日(月)17:00~19:00

【場所】国会正門前 (南庭・北庭)

*官邸前の抗議はありません

【主催】首都圏反原発連合

—Metropolitan Coalition Against Nukes—

◇許すな！

憲法改悪・市民連絡会◇

安倍首相が企てる国家安全保障戦略の改定と憲法

安倍首相は6月18日の記者会見で、敵基地攻撃をも含む新たな安保戦略の検討を開始し、事実上の改憲体制づくりを強引に進めようとする方向を明らかにしました。これはイージスアショアの配備失敗に代わって、従来の政府がとってきた「専守防衛

論」戦略を放棄し、より攻撃的な「国家安全保障戦略」への大転換を国家安全保障会議（NSC）での議論を通じて進める決意の表明です。

そのねらいはなにか、今回の講座では半田滋さんをお招きして学びたいと思います。

【日時】7月18日(土)18:30~

【講師】半田滋さん (防衛ジャーナリスト)

元東京新聞論説兼編集委員)

【場所】文京区民センター2A 会議室

【参加費】800円

(3密に配慮し、先着80名に限定します)

【主催】許すな！憲法改悪・市民連絡会

【問合せ】TEL 03-3221-4668

◇ちよぼちよぼ市民によるちよぼちよぼ市民のためのゼミナール◇

新ちよぼゼミシリーズ「オルタナティブな日本を目指して」

第49回 霞が関改革をどうする：日本の官僚組織

現代社会において政治と官僚制ないしは官僚組織は密接不可分な関係にあり、有権者・国民の代表である政治家と、政策や行政施策の執行者である官僚が適切にコワークしなければ、有権者・国民にとっての「いい政治」は望めません。

日本国憲法第15条第2項には「すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」とありますが、果たして日本の官僚たちは、そうした負託に応じて、公正で国民のための第一義を考える政策や行政施策を執行できているのでしょうか？

また、政策や施策の提案者、あるいは日本最大のシンクタンクとしての霞が関官僚組織の機能はいかがなものなのでしょうか？今回は元文部科学省事務

次官だった前川喜平氏においでいただき、ご自身の体験談もまじえつつ、日本の官僚組織の実態とその改革に関して、お考えをお聞きすることにいたしました。

なお、当日は「3密」防止のため入室人数を制限いたしますので予約制といたしました。参加ご希望の方はたんぼ舎までご一報ください（また、最初の1時間は主催者側からプレゼンを行います）。

【日時】7月28日(火)18:00~21:00（開場 17:30）

【講師】前川喜平さん（現代教育行政研究会代表、元文部科学省事務次官）

【参加費（資料代含む）】800円（学生400円）

【申込】事前にたんぼ舎まで連絡

※連絡先は各自で検索してください

【会場】スペースたんぼぼ TEL 03-3238-9035

千代田区神田美沙機長 2-6-2

ダイナミックビルの4階

◇パブリックコメント情報◇

多核種除去設備等処理水の取扱いに関する書面での意見募集について

<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620220008&Mode=0>

【呼びかけ】

東京電力福島第一原発で増え続ける汚染水を浄化処理した後の水に関し、政府の小委員会は「海や大気に放出するのが現実的」として報告書をまとめた。現在、政府は関係団体からの意見聴取と市民からのパブリックコメントを募集している。

【締切日】7月15日（水）

◇COVID-19（新型コロナウイルス）をめぐっての皆さんからのメッセージ◇

コロナ危機に対応する こども食堂をめぐる話題（湯浅誠さん）

各種イベントが中止になる中、こども食堂の方たちはそれでも活動を続けてくれています。人が集まる居場所はなかなか開けませんが、ドライブスルー方式で食材やお弁当を配布する「フードパントリー」という活動形態に変えて。私たち「むすびえ」の調査では、約半数の方たちがフードパントリーを実施していました。

これはすごいことだと思います。

今の状況下では「残念だけど、休止」と言われて文句を言う人はいません。むしろ開催した方が文句を言われます。感染リスクを考えれば、人との接点を持たない方がいいことは、誰にだってわかります。にもかかわらず、こども食堂の人たちは形を変えてまで活動を継続している……。

見えているからです。

それまでの活動の中で、課題を抱える、心配な子や家庭が見えている。そうした人たちと接点を持っている。だから単なる休止ではすまないと感じる。そして柔軟に形態を切り替えてなんとかつながりを維持しようとする—すごいことです。

だから私たちも、むすびえとしてできることは何かと考え、微力ながら着手してきました。それを関根 和彦さんと共有させてもらえればと思います。

1、クラウドファンディングを始めました。

以下の概要で、スタートさせました。集めた資金は、こども食堂とフードパントリーを両立して実施していく団体への資金支援に使います。

【寄付が2倍 コロナ緊急 「こども食堂基金」で5万人の子どもに食を】

<https://k.d.combmail.jp/t/5sr0/j0581sq05x3skytnix6V>

目標金額：1000万円

クラウドファンディング実施期間：2020年5月22日から7月31日

ここに至るまでもいろいろありました……。

はじまりは、2月27日の一斉休校要請でした。

その日、私はグループLINEで全国のこども食堂の人たちとやりとりしていましたが、最初は悲鳴のような戸惑いが飛び交っていました。「あの子は、あの家庭はどうなる」「うちの地域ではまだ決定が出ない」「給食がなくなる」「こども食堂に来ているお母さんからパニックだというメッセージが届いた」などです。しかし数時間の後には、みなさん前向きに気持ちを切り替えておられました。「うちは3月のこども食堂は休止するけど、その代わりにフードパントリー（食材配布）をやる！と、さっきみんなで決めた」などです。この臨機応変さ、柔軟さ、たくましさがかども食堂の真価だと感じ入りました。

その声と気合に押されるようにして始めたのが、「新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト」です。最初は、食材・物資の仲介でした。これは、2回目の中間報告まで発表しています。

2、「新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト」の状況について（中間報告その2）

<https://k.d.combmail.jp/t/5sr0/j058msq05x3skyttni7Cq>

これまでに、延べ681箇所のこども食堂に、食材約30,200食、米2トン、野菜2,240kg、キウイ35,788個等々をお送りしました。

そして4月の緊急事態宣言……。

それまでも居場所の開催はかなり困難になっていましたが、より一層難しくなりました。私たちは、全国のこども食堂が今どうなっているのか、緊急にアンケートを実施しました。

3、【報告】こども食堂の現状&困りごとアンケート調査結果

<https://k.d.combmail.jp/t/5sr0/j058nsq05x3skyttnitSe>

全国34都道府県231箇所のこども食堂から回答を得ました。居場所開催は10%、フードパントリー等の実施は46.3%でした。この状況下でも、過半数のこども食堂が何らかの活動を継続している実態が明らかになりました。

世の中の多くが機能停止に陥る中、それでも困難家庭を支えるこども食堂の存在が、多くの人たちに伝わっていき、それが企業・団体からのさらなる支援に結びついていきました。食材・物資だけでなく、資金も提供いただきました。そこで、私たちは4月末に、ついに助成金を立ち上げました。

4、【プレスリリース】緊急事態宣言下で迎える「こどもの日」子どもを支え、地域の飲食店を支えるこども食堂を応援します 「新型コロナウイルス対策緊急支援プロジェクト」第2弾

「むすびえ基金」創設等のお知らせ

<https://k.d.combzmil.jp/t/5sr0/j058osq05x3skytu niBXa>

「今日をしのぐ」と「明日をひらく」の2コースを設定し、今の今を支える活動とともに、アフターコロナに向けて、より地域に根差していくための活動支援を行いました。結果、55件の募集に対して144件の応募があり、「明日をひらく」をコンセプトにしたBコースに対しては、採択予定5件に対して65件の応募が来ました。このときほど、もっとお金がほしい、と思ったことはありませんでした。

その思いが神様に通じたのか(笑)、元SMAPの新しい地図の稲垣吾郎さん、草なぎ剛さん、香取慎吾さんが日本財団に立ち上げられた「LOVE POCKET FUND」からの最初の助成先になるなどして、第2回の助成金を実施できることになりました。

5、【ご案内】「むすびえ・子ども食堂基金」第2回助成 募集要項

<https://k.d.combzmil.jp/t/5sr0/j058psq05x3skytu nizIk>

現在は、その公募期間中です(5月28日15時まで)。

冒頭にお伝えしたクラウドファンディングは、それに続く第3回の助成を実施するための資金になります。

私自身の思いは、折に触れてそれらのページに理事長からのメッセージとして掲載しています。

この間の文章で、一番読んでいただけたらうれしいのは、子ども食堂の開設ハンドブックをリリースした際につけた文章でしょうか。

6、「子ども食堂・フードパントリー開設簡易ハンドブック」作成のおしらせ

<https://k.d.combzmil.jp/t/5sr0/j058qsq05x3skytu ni8CL>

その中で、私はこう書いています。

感染リスクをゼロにしようと思えば、誰とも会わず、何もしないほうがいいことはわかりきっています。

しかし、それではすまない人々の「暮らし」があるため、保育園やスーパーはやっています。「どうしてもそれを必要とする人たち」がいるからです。

子ども食堂やフードパントリーも、「どうしてもそれを必要とする人たち」にとっては保育園やスーパーと同じ意味を持っています。いわば、民間保育、無料スーパーです。

運営者の人たちには、その「どうしてもそれを必要とする人たち」が見えている(接点がある)ので、やむにやまれず、開催・実施しています。

そのことをわかってほしい……という思いが強く出た文章になりました。

今、全国ほとんどの地域で緊急事態宣言が明け、東京も解除に向けたカウントダウンに入っています。しかし、緊急事態宣言が解除されても、厳しい人たちの暮らしはすぐに楽にはなりません。

それどころか、すみやかに立ち直れる人たちとの格差が開いていき、取り残され感が強まる可能性すらあるでしょう。私たちはそれを「復興格差」として、東日本大震災を始めとする災害時に何度も何度も、繰り返し経験してきました。今回がその例外になるという保証は、何もありません。

しかし、東日本大震災のときにはなかったものが、今、日本社会にはあります。それが全国4000箇所にあぶ子ども食堂です。2011年には1件も存在しなかったものが、今は4000件。それがあってよかった、と数年後に振り返られるようにしたい、と今私は強く思っています。

……長くなりました。まだまだ言いたいことはたくさんあるし、この間さまざまなところで発表してきたレジュメもそこそこ溜まりつつあるのですが、もうこれくらいにしておきます。全部書こうと思ったら、本になってしまう（笑）。

これからも、できることを全部やっていきますので、むすびえのホームページ等で最新情報をチェックしていただければ幸いです。

そして繰り返しになりますが、クラウドファンディングもよろしくお願ひします。

<https://k.d.combmail.jp/t/5sr0/j058rsq05x3skyt6w>

ご寄付をマックスで歓迎しますが（笑）、情報の拡散だけでも結構です。こども食堂が今の社会で果たしている役割を多くの人に知っていただくことが、こども食堂への理解を広め、「明日をひらく」ことにつながっていくと考えています。

コロナで在宅時間が増え、少しはゆっくりできるかなと思ったこともありました。今は毎晩3時まで仕事し続ける日々です。目算が狂いましたが、いつだってそんなもんでした。

非常事態宣言解除をめぐる不思議 (岡山輝明さん)

有識者の諮問委員会を開く前にもう、東京等の非常事態宣言の解除という政府の結論が出てしまっている。この委員会とは何なのか。基準を満たしていないにもかかわらず、先には石川県が解除され、今度は北海道や神奈川が解除されることといい、実に不思議です。

どう考えたらいいのか、島菌進先生がリツイートされていたブログ記事をご紹介します。

Dr. Taira のブログ「やはり検査と隔離が明暗を分けた」

<https://rplroseus.hatenablog.com/entry/2020/05/22/222008>

Dr. Taira は、日本と欧米諸国との比較がよく報道されているけれども、これが的外れであること、東アジア・西太平洋地域の国々と比較すれば、日本の死者数が多く、

人口100万人当たりの死亡率などが高いことなどを指摘しています。

(5月24日時点の東アジアの数字を見ると、<https://coronavirus.jhu.edu/data/mortality>

「感染者数」が多いのは、①中国84,095人、②シンガポール31,616人、③インドネシア22,271人、④日本16,550人。

「死亡者数」が多いのは、①中国4,638人、②インドネシア1,372人、③フィリピン868人、④日本820人。

「人口100万人当たりの死亡率」①フィリピン8.1人、②日本6.5人、③韓国5.2人、④インドネシア5.1人)

そして、こう警告しています。

「このままでは日本の感染症対策の是非を誤った評価に導いてしまう可能性があり、この先の流行に対して、見通しの甘いまま準備を進めてしまう危険性があります。」

◆「おわりに」の部分抜粋してみました。下線は岡山がひきました。

今日もテレビのワイドショーで、医療崩壊を起こした欧米諸国と日本とを比較して、なぜ日本が感染者数も死者数も少ないかという議論をやっていました。図5をみたらわかるように、それは単に日本より成績の悪い国々（ピンクの枠内の国〈北欧と周辺国です〉）と

比較して論じているだけであって、まったく的外れだということがわかります。

日本よりも感染者数をや死者数を抑えているヨーロッパの国々はたくさんあり、また東アジア・西太平洋諸国の中にあっては、日本は最も成績が悪いグループの中に入ってしまう。

このような、東アジアの中で死亡率が高く、今なおそれが上昇し続けている日本の状況は、テレビやその他のメディアで全くといっていいほど報道されていません。このままでは日本の感染症対策の是非を誤った評価に導いてしまう可能性があり、この先の流行に対して、見通しの甘いまま準備を進めてしまう危険性があります。

今までのような方針をとり続け、感染拡大抑制に失敗した場合はまた「大規模な接触削減をやればいい」というのであれば、あまりにも能がなさすぎます。国民への生活や経済活動への副作用が大きすぎるからです。現代では検査という武器があるわけですから、もっと効果的に使うことができます。

国には、これまでの日本の状況を、より科学的に適切に判断してもらいたいと思います。今までのように検査を医療資源として捉えるのではなく、検査拡充を前提とした社会政策の一環として位置付ける段階に来ていると思います。

2つの、ネットで読んだ論説の紹介 (岡山輝明さん)

◆「緊急事態宣言」延長は国民のせいか 経済的補償なく進んだ政権の責任は

(ジャーナリスト＝尾中香尚里) 5/2(土) 6:02 配信
47NEWS

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200502-00000001-yonnana-soci&p=1>

*一部抜粋してみました。

“緊急事態宣言は安倍政権にとって、はなから「国民を統制する手段」でしかなかったふしがある。だから「医療崩壊を防ぐためにPCR検査の件数を増やす」などの「政権がやるべきこと」でなく「外出自粛要請」などの「国民がやるべきこと」ばかりがやたらと強調された。ろくな「見返り」も用意せず、一方的に国民に義務と負担を求め、目標が達成できなければ「国民のせい」と言わんばかり。営業を自粛しないパチンコ店の店名公表（公表の権限は知事にあるが、各知事は政権と緊密に連携をとっている）などは、その最も分かりやすい例だろう。……

国民の側が感染の恐怖や将来の生活への不安におびえているのに、その国民の生命に責任を持つべき政権の側が、自ら掲げた目標を守れなくてもその総括せず、自分たちは無傷のまま、国民には引き続き痛みを強いる。それが「緊急事態宣言延長」にみる政権の本質だ。

◆仁坂吉伸知事が、先月 27 日に県のホームページから発信したメッセージです。

和歌山県の取組みの手堅さと、政府の迷走がよく分りました。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/message/20200427.html>

*二つの論説から、「棄民」が政府の対応の根底にあることが見えてきます。政府が、人々の暮らしよりも経済を優先してきたのは、福島原発事故にしても、あるいは遡って水俣にしても同じです。今回は一定の地域ではなく、日本中がその対象となったために「棄民政策」が露わになったはず。しかし、「自粛」

の大合唱の前に目がそらされるような状況です。尾中さんの論説を読んでハッとしました。

**東大病院の森村教授より
御礼メールが届きました
(東ルミさん)**

ベグライテンの皆様

本日、東大病院の森村教授より、御礼のメールが届きました。

4月に、ベグライテンの市原みちえさんが、森村教授による医療防護具不足についての依頼文書を、メールリングリストで紹介して下さったことが、始まりでした。

続いて、ベグライテンの岩本佳子さんが、医療用フェイスシールドのニュースを知らせて下さいました。

町工場でもフェイスシールドが作れないかと投げかけてあったので、大田区に住む私は、まず近所のいくつかの町工場に電話をかけてみました。

そして、次々と電話とメールとSNSで、友人へ、企業へ、役所へ、医師会へ、議員へ、官邸へ。

トライ、トライ、トライ。
エラー、エラー、エラー。

なにくそ、同窓会へ！

トライ！！

(反応なし)

・・・エラー？

私は静かになりました。
ポリ袋で防護具をひとり作ります。

わさわさわさ ついーっ
ちょんちょん ぼとぼと

ひとりじゃ ちっともはかどらない
なのにまた買ってきちゃった ポリ袋

わさわさわさ ついーっ
ちょんちょん ぼとぼと
わさわさわさ ついーっ
ちょんちょん ぼとぼと

少しペースを上げていこう
だって秋篠宮ファミリーが500着作って寄付されたっ
てだもの

よしできた かなりできたぞ
このひとかたまりを ここへ置いてと
ああ達成感 おやすみなさい

ところが
気づいたときには もうないので
コツコツ作った私の防護服
まるごと部屋から消えました

さては防護服 自分で飛んで行ったな
よっぼど急いでたんだ
よっぼど足りなかったんだ

だんなさんが
すまなさそうに何度も言います
「ここにあったゴミを捨てたのは確かなんだ」

だけどわたしは またその日から作ります

わさわさわさ ついーっ
ちょんちょん ぼとぼと

そしてそうして、いくつも助言をくださった方々が、
このベグライテンにいらっしやいます。

ですから、東大病院 森村教授には、『ベグライテン 東
ルミ』で名前を掲載していただくよう、先程返信いた
しました。

ベグライテンをここまで続けてきてくださった関根
さん、そして皆様、本当にありがとうございました。

東ルミ

以下が、東大病院 森村教授から届いたメールです。

御礼: COVID-19 医療対応のための個人用防護具の安定
供給体制構築プロジェクト

東 ルミ様

このたびは本プロジェクトに支援をお申し出いた
だき、誠にありがとうございます。

現在まで多くの皆様からご支援いただき、順次医療機
関に物資を送っているところです。なお現時点で、各
医療機関において需要に対する一定程度の供給が得
られたと判断しております。

今後の状況に応じて、改めてご相談させていただき
たく存じます。

また、現在、本プロジェクトの報告書を作成中ですが、
感謝の気持ちを込めてご支援のお申し出をいただ
いた方のお名前を掲載させていただくことを考えてお
ります。

お名前の掲載を希望されない場合もあるかと存じま
すので、お名前の掲載の可否と記載内容についてご返
事いただけると幸いです。

お名前の掲載の可否: 可・否

掲載「可」の場合の記載内容: 東 ルミ様

引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

COVID-19 医療対応のための個人用防護具の安定供給
体制構築プロジェクト

発起人代表

東京大学医学部附属病院 森村尚登

.....

◆報告・感想◆

◇2月例会◇

**本当の脅威と本当の解決とは何か？
～混迷する世界で考える日本の針路～**

【日時】2020年2月22日(土) 14:00～16:30

【講師】柳澤協二さん

(元内閣官房副長官補、

NPO 法人国際地政学研究所理事長)

☆☆☆

柳澤協二先生の講演序盤で、私がノートにメモでき
たのは、「しょしょうじむ」「ゆうしれんごう」この二
つの言葉だけであり、そしてどちらもひらがなでしか
書けなかった。(帰宅後に調べて、「所掌事務」「有志連
合」だとわかった。)

正直に言います。私は昨年の四月一日から新聞を読
み始めました。長年、政治経済に無関心だったのです。
そのような私に、何が書けるのでしょうか。キーワード
すら自力では出せません。そんな私に、関根さんは、
「東さんなら書ける。大丈夫。書いてみて。」と無理強
いする。上手におだてられて、えい！正直に書けば良
いんだ！と書くことにしました。

柳澤先生のお話は、概要次のようなものでした。

・安全保障のジレンマ

国の安全保障を考えると、防衛の意図でも相手は攻撃の意図と誤解

してしまうという、ジレンマとリスクがある。

・抑止

抑止というのは、報復の能力×意志の認識であるが、現代はわかりにくく

なっている。戦争をすれば核の応酬になるところだが、核による滅亡を

相互に認識しているので核は使えない。

・専守防衛

米国か・中国か・自前の核で自立か、という3択ではなく、第4の選択で

あるミドル・パワーとしての自立や専守防衛への回帰が望まれる。

以下私の感想です。

柳澤先生が講演中盤でおっしゃった、「もっと広い視野で考える必要がある。」という言葉。これを聞いた瞬間の、自分の身体の内側から湧き起こる「そうだそうだ！！」という叫び。それだけは確かに存在したのです。

宇宙誕生の138億年前から、星たちは生まれ、集まったり散ったりしながら、46億年前に私達の地球が誕生しました。40億年前に生命誕生、細菌先輩、単細胞生物先輩、植物先輩、昆虫先輩とバトンを受けつぎ、魚先輩が思いきって陸へ上がり、いつしか恐竜時代へ（2億3千年前）しかし6千5百万年前に恐竜絶滅。その後、鳥類・ほ乳類が繁栄し、人類の祖先ヒト属（200万年前）、ホモ・サピエンス（40万～25万年前）、そして有史5千年の歴史の先端のわずかなひとコマに生きている私達現代人。

この果てしない時空の流れの中に生きている、生かされているということを忘れてはならないと思いま

す。そう考えた時、今私たちの地球上に渦巻くあらゆる争いごとは、弱くおろかな人間の、単なる欲望のかたまりにすぎないのではないのでしょうか。

歴史に名を残したいだけとか、独裁者でい続けたいだけとか、1番になりたいだけとか、人気者になりたいだけとか、金持ちになりたいだけとか、自分（自国）さえよければいいとか。そういう薄っぺらな人物がリーダーだった場合、どうなるのか。

その答えはまさに今、この世界で見ることができる。（以下は柳澤先生の講演とご著書より）

世界は危険に満ちている。気候変動、戦争、核。戦争の恐怖から開放されようとするれば、戦争の根源にある国家間の対立をなくさなければならない。それにはただ一つ、相互に譲歩の幅を広げることだ。そして政治の強さも必要である。政治の強さは、国民の意志を統合する力、国際社会に訴える力及び形勢が不利なら譲歩する柔軟性によって示される。

そしてその政治を決めるのは国民である。

自衛隊中東派遣、日米同盟、北朝鮮ミサイル、米中覇権抗争、サイバー攻撃、テロリスト。ひとりの国民として、何をどう守りたいのか。日本は覇権に与せず、新たな秩序を模索し、ミドル・パワーとして自立すべきではないか。（その際、歴史問題を統括して捉え直すこと。あやまる、あやまらないはオマケである。）政治家任せではなく、自分の答えを持たなければならない。（以上、講演とご著書より）

はい！がんばって勉強します！

先生の著作は、次のものを読んでいます。

「激変の北東アジア 日本の新国家戦略」

かもがわ出版 2019年1月

「18歳からの民主主義」岩波書店 2016年4月

（文 東 ルミ）

.....

◇ベグライテン 緊急セミナー◇

都政について学び、しっかり考えよう！

【日時】2020年6月16日(木) 18:30~20:45

【提題者】青龍美和子 弁護士(東京法律事務所)

☆☆☆

お話しは、小池氏による都政の問題点を検証していく内容でした。

- ・「待機児童ゼロ」の達成状況△ 8466人→3690人
- ・都の非公開資産 48兆円。スウェーデンと同じ税金あるのに社会保障に金回らず。
- ・都立病院を独立行政法人化。医療体制悪化が懸念される。
- ・学校統廃合 303校。開発狙いの跡地利用。
- ・オリンピック選手村損害額 1500億円。ディベロッパーに格安で売却。
- ・豊洲市場の土地買収で、東京ガスにかなりの利益。汚染・事故・赤字問題山積。

講義の後、質疑応答となり、ざつくばらんに意見を交わしました。

- ・山本太郎氏の消費税5%論については、財源的に問題があるという意見が多かった。
- ・世話人会に引き続き、宇都宮氏を応援しようということになった。

.....

◇憲法カフェ@四ツ谷◇

新型コロナウイルスと株式市場

【日時】2020年6月25日(木) 18:30~20:30

【提題者】伊藤 理 さん(経済アナリスト)

提題者の話し

- ・戦後最大の経済危機と言われる中で株式市場は、なぜか活況を呈している。なぜなのか？
- ・テクニカルに見ると、21,000円までの戻りは予測できるが、最近の株価はこれを軽々と超えている。説明できない。
- ・経済状況などファンダメンタルに見ても、とてもこんな株価は説明できない。
- ・需給面から見ても、
 - i. 日本の株式取引の過半を占めると言われる外国人は売っている。
 - ii. 日銀は、相変わらず買い続けている。
 - iii. 投信が買っているのだ。

投信が買っているということは、個人投資家が買っているということだ。ビル・ゲイツがかつて言った「大馬鹿理論」を思い出す。なにも分かっていない人が買っているのだ。

おそらく証券会社の営業マンから、「今の景気落ち込みは一時的なものであり、新型コロナウイルスが去ればV字回復しますよ」とでも言われているのだろう。

証券会社のファンドマネージャーは、冷静に経済を分析して、「今の状況では株は買えない」と判断していても、個人投資家が買いに出て実際に株価が上がっているのであれば、それに追従して行かないと、運用成績で負けてしまうので、買いに行かざるを得ないというのが、現状である。

これに基づき、活発に質疑が行われた。印象に残ったものとしては、

- ・株価は、ジグザグを繰り返しながら、半値、8掛け、2割引き=1/3
 $24,500 \text{円} \times 1/3 = 8,000 \text{円}$ ぐらいまで下がる可能性がある。
- ・日銀の国債保有残高は、480兆円にも上る。
- ・日本のコロナウイルス検査体制の弱体化は、1980年代以後の新自由主義政策による医療・福祉費削減によ

りもたらされたものである。

- ・電通によるメディア支配、日本支配
- ・話は、原発問題にまで及びとても面白かった。

次回は、7月30日(木)の予定。提題者は、伊藤理さん
(第2回)

.....

<編集後記>

皆さんお元気でしょうか。

東京都では COVID-19 の新規感染者数が高止まりしていますが、ともあれ経済活動は再開されてきております。この会報に目を通されているおひとりおひとは、この第一波(?)を乗り切った方々だと思います。ここまで我々はよく耐えました。みんなで自分自身を褒めてあげましょう。「がんばったよ自分！エライ！」

私はユースワーカーとして、10~20代が自らにペルソナを設定することなく居られる時間や空間、仲間の保障を行っています。そして、青少年の居場所を作った上で、自らの意思でプロジェクトにチャレンジすること、就労へ向かう取り組みをサポートしています。

コロナ禍で直接会うことができない中でWebミーティングの活用が進みました。Web ミーティングはすごいです。鹿児島だろうが石巻だろうが、どこに居ようが空間を超えてコミュニケーションが取れますし講義も受けられます。そして、いまの中~大学生は当たり前のようにWeb ミーティングと接しています。10年後にはWeb ミーティングを使いこなす世代が社会人になります。われわれもそこに対応できないと面白そうなことから置いて行かれます。

準備、出来ていますか?!心と頭も

変化したと言えば、この間、日本と世界の民主主義も前進しています。「#検察庁法改正に抗議します」が

政権を動かしました。10万円の給付金だってそのままだったらお肉券とかお魚券でした。コロナ禍の中で、われわれは声を上げることで政治が変わるという経験をしました。このことは、どんな形であれ将来の世代に影響を及ぼします。そこに希望を感じています。

世界を見れば“黒人”の方々への差別に抗議する流れが大きくなっています。この根底には、ひとりひとりの尊厳は侵してはならないモノであるという考えが大きく広がっていることがあると思われまます。それは、ひとりひとり違う他者同士が一つの社会の中でいかに共存していくのか?という問いに繋がります。

日本では道徳教育を進めようという流れがありますが、他者との共存に必要なのは「かくあるべき」という枠を当てはめることではなく、「いかにあるべきか」を考える哲学ではないでしょうか。

ベグライテンは、私に公共哲学を考えるきっかけと仲間を与えてくれています。今回、その会報に始めて携わっております。仕事との両立が難しく、関根さんや小宮さんをはじめ多くの方々にご迷惑をかけております。困ったものですが、こうしてひとまず形になったのでホッとしております。ありがとうございます。

ベグライテンは公共哲学だけではなくケアの哲学を学ぶ場でもあります。私自身は“ケア”について実感を持つことは少ないのですが、私は児童福祉のプロフェッショナルです。子ども食堂など多くの取り組みがなされていますが、本当に困っている子ども達は自分が「困っている」と口に出さないあるいは知らないことが多いです。「困っている」という認識を持つには、広い知識とそれを持ち出しても否定されない場が必要なのです。今、当たり前前に街ですれ違う子ども達の中にも、文化的で最低限度の生活を送る事が難しい方がいるかもしれない。という想像力を多くの方が持っていくことで、未来が少し明るくなるのかな?と考えております。
(文 北村 真)